

# 院外処方せんに記載されている検査値

種別	検査項目名	日本語名	基準値	単位	項目の説明
肝・胆道	AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13~30	U/L 37℃	肝臓、心筋、骨格筋等に存在し、その細胞が壊れると上昇します。
	ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	男性 10~42 女性 7~23	U/L 37℃	主に肝臓に存在するため、肝臓の機能の指標として利用されます。
腎	CRE	クレアチニン	男性 0.65~1.07 女性 0.46~0.79	mg/dL	筋肉で産生され、腎臓で排泄されるため腎機能の指標の一つです。その産生量は筋肉総量に比例するため、男性より女性、成人より小児で低めの値になります。
電解質	K	カリウム	3.6~4.8	mEq/L	生体の重要な電解質成分です。体内の水分や酸塩基のバランス等に関わります。
炎症	CRP	C反応性蛋白	0.00~0.14	mg/dL	体内の炎症の存在を見る一つの指標です。
糖尿病	HbA1c	グリコヘモグロビンエーワンシー	4.9~6.0	%	糖尿病の検査で、過去の1~2ヶ月の血糖値を反映します。
	GLU	血糖（グルコース）	73~109	mg/dL	いわゆる“血糖値”です。通常は食後に高くなります。
心・筋	CK	クレアチンキナーゼ	男性 59~248 女性 41~153	U/L 37℃	骨格筋や心筋の検査です。心筋梗塞や激しい運動後でも上昇します。
凝固	PT-INR	プロトロンビン時間国際標準比	0.85~1.25	INR	血液凝固機能の指標で、凝固系や肝機能の評価に用います。
血算	WBC	白血球数	3.3~8.6	$\times 10^3/\mu\text{L}$	血液疾患や炎症性疾患の診断・経過観察に用いられる検査です。
	Hgb	血色素量（ヘモグロビン）	男性 13.7~16.8 女性 11.6~14.8	g/dL	赤血球中の赤い色素タンパクであるヘモグロビンの濃度です。貧血等の検査に用います。
	PLT	血小板数	158~348	$\times 10^3/\mu\text{L}$	血液を固める役割を果たし、数が少なかったり機能が落ちると出血しやすく、止まりにくくなります。
白血球分類	NEUT数	好中球数	1.7~6.8	$\times 10^3/\mu\text{L}$	細菌等の異物を処理する役割があり、体を外敵から守ります。好中球が減少すると感染症になりやすくなります。